



御嶽山噴火災害犠牲者追悼式

令和6年度一般会計補正予算	・・・	2P
議案審議・決算認定	・・・	3～7P
議会報告他	・・・	8P



令和6年度一般会計補正予算可決

歳入歳出 4,642 万円追加 総額 22 億 6,443 万円

王滝村議会 9 月定例会は 19 日に開会し、本年度一般会計補正予算など 9 議案と、令和 5 年度 10 会計の決算認定を行い、全て原案通り可決・認定して閉会した。一般質問は 1 名が行った。本年度一般会計補正予算には、歳入歳出それぞれ 2,366 万円を追加。主な歳出は、ドローンを使った物資輸送を見据えた実証実験の委託料として 231 万円。

《主な事業》

- | | | | |
|---------------------------|--------|-------------------------------|--------|
| ◆一般管理費 | 76 万円 | ◆災害対策費 | 288 万円 |
| ・著作権侵害事案に係る損害賠償金 | | ・ドローンによる物資輸送の実証実験費用 | |
| ◆財産管理費 | 115 万円 | ・職員のドローン飛行資格取得経費 | |
| ・村営住宅（小川 2 号、タンカボラ）に係る修繕費 | | ◆公営企業支出金 | 809 万円 |
| ◆道路維持費 | 150 万円 | ・第 4 D 線減速機ギア交換、圧雪車追加整備、駐車場整備 | |
| ・村道 41 号線舗装改修に係る増工分 | | | |

《議案審議》

議第 33 号 和解及び損害賠償の額の決定について（専決処分）

- ・美浜町の駐車場で、トランクから荷が崩れ後方車両のバンパーを損傷させたとして修理代金 81,944 円の支払い

議第 34 号 和解及び損害賠償の額の決定について（専決処分）

- ・村道 1 号線を通行中、法面からの落石によりフロントサスペンションを損傷させた修理代金 79,420 円の支払い

議第 35 号 令和 6 年度王滝村一般会計補正予算について（専決処分）

- ・林道樽沢線の災害復旧工事費として 165 万円の計上

議第 36 号 王滝村教育委員の任命につき同意を求めることについて

議第 37 号 長野県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

- ・国の制度改正に合わせて、広域連合が処理する事務を規定した規約の一部変更

議第 38 号 和解及び損害賠償の額について

- ・野口康二氏が著作権を有するイラスト 1 点を平成 25 年 2 月 1 日発行の「役場だより」197 号の印刷物及びホームページ上に本年まで無断で使用した。
- ・村が掲載していたことは事実であり、民事訴訟の提起や著作権侵害として刑事告訴もあり得る為、顧問弁護士と相談の結果、解決金として 76 万円を支払った。

議第 39 号 - 48 号 令和 5 年度歳入歳出決算認定について

議第 49 号 王滝村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

- ・マイナンバー法によるマイナ保険証に関する所要の改正

議第 50 号 令和 6 年度一般会計補正予算について

- ・歳入歳出 2,366 万 8 千円の追加計上

議第 51 - 55 号 令和 6 年度王滝村特別会計・公営企業会計補正予算

《質疑》

○議第 38 号 和解及び損害賠償の額について

問（西村） 再発防止に向けた具体的な取り組みはどのように考えているか。

答（総務課長） 今回の案件は職員の不注意によるものであり、今後、このようなことのないようにしっかりとしたチェックをするように指示した。当時と異なり、現在はセキュリティーサーバーを使用しているが、ネット上のものを安易に使用することのないようにしていく。村のホームページに掲載していた役場日より3年以上前のものは削除して、閲覧の希望があれば村に問い合わせるようとしている。

問（西村） 不注意によるものであることは理解している。それぞれ一生懸命に仕事をしていることはわかるが、この事案に限らず、もう少し職員の意識レベルを上げて、より緻密な仕事をしてもらいたい。

問（倉橋） 解決金 76 万円の詳細を伺う。

答（総務課長） イラスト使用料は1年目は5万円、2年目以降は3万円。5万円+3万円×11年で38万円。これに加え、無断使用の場合は正規使用料の2倍とホームページに記載があるので、76万円になる。

○議第 50 号 一般会計補正予算について

問（吉田） ドローンによる物資輸送を見据えた実証実験に予算が計上されているが、輸送重量は何キロか。また、実用化の目途はたっているのか。

答（総務課長） 輸送重量は50キロを想定している。来年度には実用化できる見込みである。

問（吉田） 職員の資格取得に要する費用も併せて計上しているが、何名を予定しているか。

答（総務課長） 若い職員2名を予定している。

問（吉田） 運用に関しては業者に委託するのか。ドローンを購入して直営で行うのか

答（総務課長） ドローン購入に500万円程度かかるため、当面は直営で行うことは考えていない。

問（倉橋） 災害が起きた時のドローンの活用についての考えを伺う。

答（総務課長） 災害が起きた時を想定してすぐにドローンを飛ばせるように、各町村、孤立する可能性のある所と拠点を結ぶルート3本の座標値を抑える取り組みが来月から進む。この事によって災害時、迅速にドローンが活用できるようにする予定。

令和5年度王滝村一般会計決算認定

令和5年度の王滝村一般会計決算額は、歳入総額22億5,774万8千円、歳出総額21億8,239万円である。令和4年度との比較は、歳入4,170万4千円の減、歳出1,730万7千円の減となり、歳入歳出ともに昨年度と比較して減額となった。収支状況は、実質収支が6,371万4千円、実質単年度収支は4,770万9千円の黒字決算となった。歳入の執行状況は、予算額22億6,820万5千円に対し、収入済額22億5,774万8千円で執行率99.5%となっている。また、調定額に対する収入未済額は1,026万4千円であった。

村税の調定額は2億4,460万4千円であり、前年度より1,037万6千円の減、収入済額は2億3,350万8千円で、前年度より927万5千円の減となっている。収入済額の内、82.7%を占める固定資産税は1億9,304万4千円で、前年度より678万4千円の減となっている。また15.4%を占める村民税は3,586万5千円で、前年度より263万8千円の減となっている。現年課税分、滞納繰越分を合わせた村税の徴収率は95.5%で、前年度より0.3%の増となっている。滞納額は698万4千円で前年度より94万円の減となっている。歳出総額は、に対し支出済額21億8,239万円で、予算に対する執行率は96.2%である。



決算審査

財政収支状況

単位：千円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳入	2,298,806	2,299,452	2,257,748
歳出	2,147,172	2,199,697	2,182,390
形式収支	151,634	99,755	75,358
翌年度に繰り越すべき財源	30,431	18,755	11,644
実質収支	121,203	81,000	63,714
単年度収支	7,049	▲40,203	▲17,286
基金積立金（財調分）	219,325	158,188	155,371
繰上償還金	0	0	51,540
基金とりくずし額（財調分）	189,125	145,066	141,916
実質単年度収支	37,249	▲27,081	47,709

◇監査委員の意見（合同）

2023年の日本経済はコロナ禍を乗り越えて穏やかな回復基調を取り戻したが、内需は力強さを欠いた1年になったと言われていた。当村においても一部、回復の兆しは伺えたが村内経済全てが回復基調であったとは言えない1年であった。また、円安やウクライナ情勢の影響等により物価の値上げの影響で消費拡大にはつながらない結果となったと推察される。一方、村では、令和5年度に御嶽山王滝口登山ルートが剣ヶ峰まで緩和され、田の原までの観光路線バスの再開による観光客の増加やスキー場の入込みが対前年度比で増加したことは、村の活性化につながる情勢として今後も期待するところである。以下、項目ごとに意見を述べる。

1. 村税及び公共料金の徴収について

村税の現年・滞納繰越分を含めた徴収率は95.5%で対前年度比0.3ポイント増加しており、職員の徴収努力を評価する。一方、固定資産税の不納欠損は前年同様行われており、滞納整理機構に依頼しても徴収困難と認めるが、今後、新たに同様事態が発生しないよう徴収努力をしていただきたい。公共料金、土地貸付料については未納者に対して少しずつでも支払っていただくよう督促他、徴収に努められたい。

上下水道料金の未納については法適用移行のため年度末打ち切り決算されており収

入未済が発生し、法適用移行後に収納されてはいるが、滞納繰越が発生しないよう徴収努力をお願いしたい。

村発注の工事請負業者や指定管理者の中に公共料金の滞納者や、村内用プレミアム商品券購入者の中に村税や公共料金の滞納者が見受けられた。公平性の観点からも税金、公共料金に滞納がある場合単位：千円 ㌦を付加するよう検討いただきたい。

2. 指定管理施設の管理について

指定管理施設が各所にあるが、一部施設の周辺が除草されず、雑草が伸びたまま放置され観光客から見ても外観や印象が悪いので指定管理者に対して指導していただきたい。また、担当職員の定期的な施設管理のチェックを行っていただきたい。

3. 国庫補助金の事務取扱いについて

建設事業に伴う国庫補助金が返還された。内容は補助金請求額に誤りがあり、担当者の思い込みで当初の内示額で請求を行ったことによる返還金であった。今後、チェック体制の強化と職員の補助金事務取扱内部研修会を行い、誤りのない事務執行を図られたい。

4. 地域おこし協力隊員の募集及び採用について

地域おこし協力隊員について、一部村民から報告書等を見ても何をして、どのような目的や将来目標か、よくわからないとの

声を伺う。制度ができて既に10年以上継続されており、実績として村へ定住された隊員もいるところであるが、募集にあたっては募集要件や採用にあたっては村としての独自基準を設けて、村民にも納得して理解が得られる仕組みを検討していただきたい。

5. 少子化対策について

少子化対策として、以前から家庭の負担軽減のための施策を行っているが視点を負担軽減だけに置くのではなく、結婚や出産を希望する人を後押しし優しく包み込む社会的な機運を醸成していくことも重要と考えられるので、ソフト対策等による少子化対策を検討いただきたい。

《一般会計決算認定質疑》

・田の原飲食施設について

問(吉田) 昨年から本格的な工事が始まっているが、田の原飲食施設の完成はいつになるのか。

答(総務課長) 2025年10月末の予定である。

問 参拝客、登山客も順調に回復しているできるだけ早い開設が望ましいが、極力遅れることのないようお願いしたい。

・協力隊採用について

問(吉田) 昨年は新規採用が2名あるが明確な目的、基準をもって採用しているか。

答(企画室長) 特に目的や基準は設けていない。

問 今後各所で人材不足がさらに深刻化する。村にとって必要と思われる分野に的を絞って採用していくことも考えていかなければならないと思う。

・ありがとうキャンペーンについて

問(吉田) 昨年はありがとうキャンペーンを利用した宿泊者が2,500名程あった。そのキャンペーンの終了で、宿泊事業者への影響はどのように考えるか。

答(企画室長) 秋以降新たに村外向けプレミアム商品券を発行する。5,000円のうち1,500円を宿泊専用とすることで宿泊者の減少は避けられると考える。

問(吉田) ありがとうキャンペーンはスキー場、宿泊事業者双方にとってメリット

があったと思う。どういう形であれ、それぞれが納得する形で進めてもらいたい。

・インバウンドについて

問 昨年王滝村のプロモーションビデオを制作し全世界に向けて配信した。今年その効果はでているのか。

答(企画室長) インバウンドも増加傾向にありその効果は出ているものとする。

令和5年度 王滝村公営企業 観光施設事業会計決算

経営状況について

株式会社シシによる運営の3期目となり12月9日から令和6年4月7日まで111日間(雨等による運休(10日)を除く)の営業で、入り込み者数は対前シーズン比106%の35,757人となった。決算内容は、支出分を一般会計からの補助金で補っているため、資金不足は生じていないが、減価償却費を含めた収益収支では1億6,426万円の純損失となり、当該年度末の累積欠損金は57億9,265万円となっている。

収益的収入(事業収益)について

決算額は、1億8,409万4千円となった。建物共済の保険金130万円余と一般会計補助金である。

収益的支出(事業費用)について

決算額は、3億4,835万3千円である。費用の内訳は株式会社シシへの指定管理料4,500万円、ロッジ三笠浴室改修補助金785万円、稼働全リフトなどの修繕費1億1,420万円、建物修繕費855万円、圧雪車リース料770万円、国有地借地636万円、減価償却費1億5,624万円等となっている。



長野県西部地震 慰霊の調べ (9/14)

財政収支状況

単位：千円

	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
		金額	対前年	金額	対前年
事業収益	196,073	180,380	▲8.0	184,094	2.1
事業費用	358,115	329,743	▲7.9	348,353	5.6
当年度純利益	▲162,042	▲149,463	▲7.8	▲164,259	9.9
累積欠損金	▲5,478,932	▲5,628,395	2.7	▲5,792,654	2.9

◇監査委員意見（合同）

御嶽スキー場の入込客数は35,757人、前年度比106%の増加となった。現状においてスキー場内の諸施設の老朽化が進んでいるが、更新や大規模改修は財政的に厳しいため、現施設で最小限の修繕で維持し入込客数の増加を図るよう、平日対策、柔軟なリフト運行時間の設定、飲食提供の見直しなど一層の企業努力が必要であると考え。特に村として指定管理者と常に情報などを共有することに心がけてほしい。

公営企業会計からスキー場への歳出は、指定管理料を含めて令和5年度は約1億8,280万円、スキー場の営業収入は約1億457万円であり、数字の上からはどのように考えても

企業として良好な運営ができているとは思えない経営状況である。

村においては、経営や収支状況等のチェックをするとともに、スキー場の現状や将来見通し、王滝村観光産業検討委員会の意見や村民意見の集約などをもとにスキー場の営業継続・売却・休止等についても判断を行う必要があると思われる。

村は過去、スキー場を直営で営業し公営企業法適用会計で扱ってきた。スキー場の運営を指定管理者制度に変更した現在も、公営企業法適用会計を継続しているが、特別会計等への変更の可能性も含め前向きに進めていきたい。



松原スポーツ公園で行われた林鉄フェス2024 (10/6)

一般質問

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

三浦議員に対する一般質問の取り扱いについて

「議会内差別があるが村長はどう思うか」といった主旨の一般質問の通告書が提出されたが、議会運営委員会で協議をした結果、「議会内の事であり行政とは関係無い質問」という事でこの質問に関しては取下げを指示。しかし当日の一般質問では、通告の取下げを指示した内容が質問された為、議長はこれを認めず次の質問に移るように指示。しかし三浦議員は取下げ指示が出た質問を続けようとした。議長の指示に従わない上に、議長を「あんた」「お前」呼ばわりをした為、議場外へ退去命令を行った。

※議員はどんな発言も許されるものではなく、議場では議長の許可を得て発言ができ、議長の許可がなければ発言できない。また、議場の秩序を乱す行為は会議規則に違反する。これらは懲罰に値する場合もある。

若者の意見や県内の事例を参考に 持続可能な地域づくりを

倉橋 孝四郎

問 若年女性人口の減少率が県内でワースト1だったが、どのように受け止め今後の対策を伺う

答（企画室長） 非常に厳しい事実として受け止めている。今できる事として子育て支援・空き家バンク制度・地域おこし協力隊の受け入れ・長野県立大学との連携協定を進め、移住や交流人口に繋げていきたい。

問 同時に役場関係者も含め、村に住んでる若者たちの声を拾いあげ反映させていく事も重要だと思うがいかがか。

答（企画室長） どのような形にするかは検討が必要だが、若者の意見も聞いていきたい。

問 是非進めてもらいたい。同じ人口規模で社会増になっている地域もあるが、オンラインや視察等で視野を広げ発想を柔軟にする必要があると思うが。

答（村長） 若者の意見を聞き取り入れる機会はなかったのは事実。また、若者達がチャレンジできる、応援できる雰囲気づくりも必要と思っているので他地域の事例も参考にしながら声を聞く機会を設けていきたい。村外から王滝村への移住促進と同時にまずは今住んでいる方々の声を聞けるような場も検討したいと思う。

木曾広域連合議会 8月定例会報告

木曾広域連合議会は、令和6年第3回定例会を8月28日午前10時に開会。上程議案は、認定3件、報告1件、令和6年度補正予算2件の計6議案。

○認定第1号 令和5年度木曾広域連合一般会計歳入歳出決算について

歳入決算総額は47億9,196万3,233円で、対前年度比較8億818万7,361円(20.3%)の増、歳出決算総額は47億871万7,241円で、対前年度比較8億6,843万5,687円(22.6%)の増となった。また実質収支額は8,324万5,992円で、対前年度比較1,288万9,674円(18.3%)の増となった

○認定第2号 令和5年度木曾広域連合介護保険特別会計歳入歳出決算について

歳入決算総額は40億2,288万3,879円、歳出決算総額は39億1,319万8,923円で、歳入歳出差引額は、1億968万4,956円である。

○議案第20号 令和6年度木曾広域連合一般会計補正予算(第2号)

補正額は1,749万4千円で、補正後の予算総額は32億6,183万4千円。

○議案第21号 令和6年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算(第2号)

補正額は、1億3,399万6千円で、補正後の予算総額は39億7,208万8千円。

(全員協議会)

森林整備協定造林事業の見直しについて

請願・陳情

9月定例会で審議された請願・陳情等は下記のとおりです。

オウ カイゲン

- 母（王 乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望（資料配布）
- 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書（採択）
- 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情（採択）
- 訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書（採択）
- 刑事訴訟法の改正によるえん罪被害者の速やかな救済を求める意見書提出についての陳情書（採択）



長寿を祝う会（10/5）

教育委員会委員を選任

王滝村教育委員会委員に松原 亮氏（下条区）が議会の同意を得て選任された。任期は令和6年10月1日から令和10年9月30日までの4年間。

編集後記

噴火から10年。一つの節目を迎えた。ただ、この災害は決して風化させてはいけない。剣が峰までのルートも開通し平穏を取り戻しつつある御嶽山であるが、災害はいつ起こるかわからない。これからも安全対策、安全確保に努め、二度と同じことを繰り返さないことが我々の使命である。（広）

発行/王滝村議会
編集/議会だより編集特別委員会
長野県木曾郡王滝村 3623/(電)0264-48-2001

議会日誌

6月

- 18日 村議会6月定例会1日目
- 24日 北信越町村議会議長会会長会議（石川県）
- 25日 長野県社会福祉協議会評議員会（長野市）
- 26日 例月監査（5月分）・第5回議会運営委員会・木曾郡議長会（木曾町）
- 27日 第1回王滝村総合戦略会議
- 28日 第2回議会全員協議会・村議会6月定例会2日目・第2回議会だより編集委員会

7月

- 1日 御嶽山開山式（木曾町）
- 3日 消防ポンプ操法大会県大会出場激励会
- 4日 総務文教常任委員会複式学級実施校視察研修（平谷村・阿南町）
- 5日 長野県市町村総合事務組合議会定例会（長野市）
- 8日 南部直轄砂防推進協議会総会（上松町）
- 9日 中日本町村議会議長会会長会議（東京都）
- 10日 全国豪雪地帯町村議会議長会総会（東京都）
- 11日 全国議長会都道府県会長会（東京都）
- 12日 長野県町村議長会議員研修会（松本市）
- 17日 木曾郡議長会（木曾町）
- 23日 おんたけ休暇村新理事長就任あいさつ
- 25日 田の原施設安全祈願祭・木曾地域治水対策協議会総会（木曾町）
- 26日 例月監査（6月分）・長野県町村議長会打合せ（木曾町）
- 27日 御嶽神社例大祭
- 29日 第3回議会だより編集委員会
- 31日 議会だより（165号）発行

8月

- 1日 木曾郡町村議会議員総会（上松町）
- 2日 長野県町村議長会役員会（長野市）
- 5日 長野県市町村自治振興組合議会第2回定例会（長野市）
- 6日 令和5年度決算審査（総務課）・中津川、木曾下伊那広域連携SDGs推進協議会総会（阿智村）
- 7日 令和5年度決算審査（経済産業課・福祉健康課）・木曾森林管理署長との懇談会（上松町）
- 9日 令和5年度決算審査（総務課・福祉健康課・教育委員会）
- 20日 令和5年度決算審査（企画・観光推進室）
- 21日 木曾広域連合議会 議会運営委員会・総務常任委員会（木曾町）
- 22日 木曾広域連合議会 経済観光常任委員会福祉環境常任委員会（木曾町）
- 23日 長野県町村監査委員協議会総会及び研修会（安曇野市）
- 26日 例月監査（7月分）・令和5年度決算審査まとめ
- 27日 第6回議会運営委員会
- 28日 木曾広域連合議会第3回定例会（木曾町）
- 30日 令和5年度決算審査講評・長野県地方税滞納整理機構議会8月定例会

9月

- 3日 木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟役員会（南木曾町）
- 5日 木曾地域治水対策協議会要望活動
- 12日 第3回全員協議会・第7回議会運営委員会
- 14日 王滝村総合防災訓練・長野県西部地震追悼式（松越地区・柳ヶ瀬地区）
- 19日 村議会9月定例会